

作成日 平成20年6月2日

製品安全データシート

1 製品及び会社情報

製品名 : 空間衛生除菌水クリンメソッド
会社名 : 株式会社 エム・アイ・シー
住所 : 東京都中央区日本橋人形町2丁目2番6号 堀口第2ビル7F
担当部門 : 営業部企画管理
担当者(作成者) : 清水 一
電話番号 : 03-5623-2511
FAX : 03-5623-3077
製品コード : CM001, CM002, CM003, CM004, CM005, CM006
緊急連絡先 : 03-5623-2511
整理番号 :

2 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名又は一般名 : 次亜塩素酸ナトリウムと塩酸の水希釈混合物
成分及び含有量

化学名	含有量 (%)	化学特性	CAS No.	官報告示整理番号 化審法・安衛法
次亜塩素酸ナトリウム	0.36	ClNaO	7681-52-9	(1)-237
塩酸	0.086	HCl	7645-01-0	(1)-215
水	99.554	H ₂ O	—	—

3 危険有害性の要約

最重要危険有害性

有害性 : 有害性は極めて低い。
物理的及び化学的危険性 : 火災の危険性は極めて低い。
特定の危険有害性 : 該当しない。
分類の名称(分類基準は日本方式) : 分類基準に該当しない。

4 応急措置

吸入した場合 : 特に問題なし
皮膚に付着した場合 : 特に問題なし
目に入った場合 : 直に清浄な流水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずして)。異常や違和感があれば、医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : 新鮮な水で口を漱ぐ。

最も重要な徴候及び

- 症状に関する簡潔な情報** : 特になし。
応急措置をする者の保護 : 特になし。
医師に対する特別注意事項 : 特になし。

5 火災時の措置

- 消火剤** : この製品自体は不燃性である。
 粉末消火薬剤、二酸化炭素、水、泡消火薬剤。
火災時の特定危険有害性 : 特になし。
特定の消火方法 : 周辺火災の場合は、危険でなければ容器を火災区域から安全な場所に移す。
 移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、必要に応じて適切な保護具（呼吸用保護具、防護服等）を着用する。

6 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項** : 特になし。
環境に対する注意事項 : 特になし。
除去方法 : 多量の水で洗い流す。

7 取扱い及び保管上の注意**取扱い :**

- 注意事項** : 飲料水ではないので飲まないこと。
安全取扱い注意事項 : 用途目的以外に使用しない。
 開封後約1ヶ月を目安に使い切ること。

保管 :

- 適切な保管条件** : 幼児の手の届かない所に、直射日光を避け暗所に保管する。
安全な容器包装材料 : 次亜塩素酸ソーダの希釈水（アルカリ性）や酸性水に比べ、金属腐食性は軽微であるが、不透明なポリエチレン、塩ビ等が適する。

8 暴露防止及び保護措置

- 管理濃度** : 次亜塩素酸ナトリウム、塩酸 : 設定されていない。
 塩素 : 0.5ppm

許容濃度 :

	日本産業衛生学会 (2002年版)	ACGIH (2002年版) TLV-TWA(時間平均), TLV-STEL(短時間暴露限界)
次亜塩素酸ナトリウム	設定されていない。	設定されていない。
塩酸	5ppm(C) / 7.5mg/m ³ (C)	5ppm(C)/7.5mg/m ³ (C) 5ppm/7.5mg/m ³
塩素	0.5ppm(C)/(1.5mg/m ³ (C)	0.5ppm 1ppm(C)

保護具

特になし。

9 物理的及び化学的性質

物理的状態

形状	:	透明液体
色	:	無色
臭い	:	微かな塩素臭
pH	:	6.0～6.5

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

沸点	:	100℃以上
引火点	:	該当しない。
爆発特性	:	該当しない。
蒸気密度	:	データなし。
密度 (g/cm ³)	:	データなし。
溶解性	:	
溶媒に対する溶解性	:	水、アルコールに可溶。

10 安定性及び反応性

安定性	:	長時間日光、紫外線に当たると普通の水に戻る。 常温でも徐々に分解し、普通の水に戻る。
反応性	:	細菌や有機物と接触すると分解除菌して普通の水に戻る。
避けるべき条件	:	熱、日光、紫外線への暴露。
危険有害な分解生成物	:	次亜塩素酸、塩素 (極微量)

11 有害性情報

急性毒性	:	異常は認められない。(5)
局所効果	:	眼刺激性試験 ヒト 50～80ppm 刺激性なし。(5) 皮膚一時刺激性試験 ヒト 50～80ppm 刺激性なし。(5) 皮膚累積刺激性試験 ヒト 50～80ppm 刺激性なし。(5)
感作性	:	感作性試験 ヒト 感作性なし。(5)
慢性毒性・長期毒性	:	データなし。
発がん性	:	IARC (国際がん研究機関) は、塩酸をグループ3 (ヒトに対する発がん性については分類できない) に評価している。(3)
変異原性	:	復帰毒性試験 陰性 (5)
催奇形性	:	データなし。
生殖毒性	:	データなし。
その他	:	細胞毒性試験 (コロニー形成阻害試験) 問題ない程度。(5)

12 環境影響情報

データなし。

13 廃棄上の注意 :

多量の水で希釈して廃棄する。

14 輸送上の注意

国連分類 : 国連勧告の定義上危険物に該当しない。

輸送の特定の安全対策及び条件 :

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の漏れないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

15 適用法令 (7)

主な適用法規は次の通り。

海洋汚染防止法	施行令別表第1有害性物質 C類
食品衛生法	法6条、施行規則第3条、別表2 (次亜塩素酸ナトリウム、塩酸) 食品添加物 (指定添加物)

16 その他の情報

記載内容の問合せ先 :

お客様相談窓口 電話 0120-76-2511

引用文献

- (1) 国際化学物質安全性カード(ICSC)
- (2) ACGIH: Documentation of the Threshold Limit Values and Biological Exposure Indices, 7th Ed.
- (3) IARC Monograph
- (4) 日本産業衛生学会「許容濃度等の勧告」
- (5) 食品医薬品センター報告書
- (6) 社内試験データ
- (7) 2003年版 日化協監修化学物質法規制検索システム (CD-ROM版) 日本ケミカルデータベース株式会社 (2003)
- (8) 日本ケミカルデータベース (株)「化学品総合データベース」

このデータシートは、化学製品の工業的な一般的取扱いに際しての安全な取扱いについて、最新の各種文献に基づいて作成していますが、完璧なものではありません。
また、記載内容は、情報提供でありいかなる保証をなすものではありません。
新たな情報を入手した場合は、追加又は訂正されることがあります。化学製品に他の化学物質を混合したり、特殊な条件で使用する時は、需要者各位が安全性の評価を実施し、自らの責任において個々の取扱い等の実態に応じた適切な措置をとられるようお願い致します。